

◇◇ 生きることを問い直す「道しるべ」として ◇◇

ロゴス点字図書館 出版図書目録

2026年 6月 20日 現在

社会福祉法人ぶどうの木ロゴス点字図書館
〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10
日本カトリック会館内
TEL 03-5632-4428 ・ FAX 03-5632-4454
メール shuppan@logos-lib.or.jp

＊ ＊ 目 次 ＊ ＊

ご利用の前に

カトリックの教え 1

聖 書 2

祈 り と 歌 10

回勅、書簡、教書 13

聖人伝、説教集、黙想 16

評論、エッセー 18

そ の 他 18

定 期 刊 行 物 21

* ご 利 用 の 前 に *

- ・ 点字図書の購入に対する公費助成は日常生活用具給付事業に位置づけられています。自己負担額は、市町村の判断により決定されますので、公費助成をご利用の方は、前もって地域の役所(福祉事務所等)に氏名を登録の上、本館に点字図書発行証明書を御請求ください。
- ・ ★の付いた図書は、2025年8月20日発行の目録以降に掲載した点字図書です。
- ・ この目録は、書名、著訳編者名、巻数、定価、自己負担額(概ね原本価格)、原本出版社名、同発行年、本の主な内容、＜備考＞の順に記してあります。

【カトリックの教え】

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原本価格	原本発行所	原 本 発行年	主 な 内 容	備 考
カトリック教会の教え	新要理書編纂特別委員会編	10	30,000	2,625	カトリック中央協議会	2003	教会は時と所に柔軟に対応しながら、不変の真理を伝える。この立場から現代の問題への見解を示した新しい要理書。	パソコン書
はじめて教会へいらしたあなたに ーカトリック教会の案内ー	ガエタノ・コンプリ著	1	2,500	210	ドン・ボスコ社	2001	カトリック教会に関心を持ち、行ってみたいと思う人へのやさしいガイド。巻末にロゴス点字図書館・橋本館長(当時)の視覚障害者のためのガイド文もついている。	パソコン書
カトリック教会のカテキズム	日本カトリック司教協議会教理委員会訳・監修	22	47,000	3,780	カトリック中央協議会	2002	カトリック信仰と教理とが体系的にまとめられたもの。1985年にヨハネ・パウロ2世教皇によって任命された編纂委員会が6年かけて完成させた。「教会的交わりのために役立つ権威ある道具」としての活用が期待されている。2018年8月にフランシスコ教皇が承認した、死刑に関する2267番の改訂は反映済み。	パソコン書
カトリック教会のカテキズム コンベンティウム 要 約	日本カトリック司教協議会常任司教委員会監訳	4	15,850	1,260	カトリック中央協議会	2010	『カトリック教会のカテキズム』の要約である本書は、信仰の根本的な要素を簡潔に示している。従って、本書は信徒でない人にとっても、「カトリックの全体を見渡しなが把握する」便覧ともなる。	パソコン書

【 聖 書 】

< 新 約 聖 書 >

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
新約聖書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	17	70,500	1,785	サンパウロ	2012	50余年の研究成果を問う、フランシスコ会聖書研究所訳注の『聖書』。その「新約聖書」版。点字版は「日本人感覚で訳された聖書を読みたい」とのリクエストに応じて製作。編者らが苦心した「注解」も注目したい。	パソコン書
新約聖書 マタイによる福音書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	8,000	203	サンパウロ	2012	新約聖書から、イスラエルの歴史理解を特徴とする「マタイによる福音書」を収録。	パソコン書 『新約聖書 ー原文校訂による口語訳ー』より
新約聖書 マルコによる福音書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,900	131	サンパウロ	2012	新約聖書から、メシア・キリストとしてのイエスを叙述した「マルコによる福音書」を収録。	同上
新約聖書 ルカによる福音書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	7,900	203	サンパウロ	2012	新約聖書から、イエスによる救済をテーマに異邦人キリスト者に向けて書かれた「ルカによる福音書」を収録。	同上
新約聖書 ヨハネによる福音書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	8,000	210	サンパウロ	2012	新約聖書から、イエスは父の最愛の子、また父と人間との仲介者として描いた「ヨハネによる福音書」を収録。	同上
新約聖書 使徒言行録 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	8,400	212	サンパウロ	2012	新約聖書から、紀元30年から63年までの初代教会の歴史的事実を叙述した「使徒言行録」を収録。著者はルカといわれる。本書は、福音書の結論をなすとともに、パウロ書簡への入門ともなる。	同上
新約聖書 ローマの人々への手紙 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,200	101	サンパウロ	2012	新約聖書から、新約聖書の中で最も重要なものとみなされている「ローマの人々への手紙」を収録。教えの部で、異邦人の救いとユダヤ人の救い、それに両者の関係を扱っている。	同上
新約聖書 コリントの人々への手紙・ガラテヤの人々への手紙 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	8,300	212	サンパウロ	2012	新約聖書から、「コリントの人々への第一の手紙」「コリントの人々への第二の手紙」「ガラテヤの人々への手紙」を収録。パウロはコリントの教会に信仰と真理に対する教えを力説。ガラテヤへの手紙は、信仰による義化とキリスト者の自由を主なテーマとしている。	パソコン書 『新約聖書 ー原文校訂による口語訳ー』より

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
新約聖書 エフェソの人々への手紙・ フィリピの人々への手紙・コロサイの 人々への手紙 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	3,900	94	サンパウロ	2012	新約聖書から、「エフェソの人々への手紙」「フィリピの 人々への手紙」「コロサイの人々への手紙」を収録。エ フェソへの手紙のテーマは一致と調和、フィリピへの手紙 は救い主キリストへの業を要約、コロサイへの手紙はキリ ストに関する教義、ギリシャ哲学とアジアの宗教に影響さ れたユダヤ教の異端を論駁。	同上
新約聖書 テサロニケの人々への手 紙・テモテへの手紙・テトスへの手紙 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,100	101	サンパウロ	2012	新約聖書から、「テサロニケの人々への第一の手紙」「テ サロニケの人々への第二の手紙」「テモテへの第一の手 紙」「テモテへの第二の手紙」「テトスへの手紙」を収録。 テサロニケへの手紙は大きな教義的重要性はないが、初 代教会の教えと状況を証している。テモテとテトスへの3 通の手紙は、パウロが殉教を控え、教会の名誉と規律維 持を目的として書かれ「司牧(牧会)書簡」と呼ばれる。	同上
新約聖書 フィレモンへの手紙・ヘブ ライ人への手紙 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	3,800	89	サンパウロ	2012	新約聖書から、「フィレモンへの手紙」「ヘブライ人への手 紙」を収録。パウロはコロサイの裕福なキリスト者フィレ モンに、彼の奴隷オネシモをキリストに結ばれた兄弟として 受け入れるよう勧める。ヘブライ人への手紙は、パウロの 手紙の中で最後のもの。著者はパウロでないとの見方も あるが、高度に発展したキリスト論を展開している。	同上
新約聖書 ヤコブの手紙・ペトロの手 紙・ヨハネの手紙・ユダの手紙 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,400	118	サンパウロ	2012	新約聖書から、「ヤコブの手紙」「ペトロの第一の手紙」 「同 第二の手紙」「ヨハネの第一の手紙」「同 第二の手 紙」「同 第三の手紙」「ユダの手紙」を収録。ヤコブの手 紙は共同体における他者に対する態度を教える。ペトロ の第一は洗礼によって得る新しい命が語られ、第二は 「聖書の預言は勝手に解釈してはならない」と忠告。ヨハ ネの第一は十字架上の贖いについて述べ、第二は偽教 師と関わらないよう警告、第三は教会に見られる権力と 影響力に関する洞察。ユダの手紙は神の憐れみを待ち 望むよう警告する。	パソコン書 『新約聖書－原 文校訂による口語 訳－』より
新約聖書 ヨハネの黙示録 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,600	111	サンパウロ	2012	新約聖書から、「ヨハネの黙示録」を収録。著者は使徒ヨ ハネで、94年～96年にパトモス島で書かれた。新約聖 書の最後に位置する。本書の目的は、当時不幸な状態 にあった諸教会の信徒を慰め、キリストの勝利、救い主 の再臨の希望により、試練の責め苦を越えて信仰を固め ることだった。	同上

< 旧約聖書 >

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原本 価格	原本発行所	原 本 発行年	主 な 内 容	備 考
旧約聖書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	63	318,500	4,065	サンパウロ	2013	フランシスコ会聖書研究所訳注『聖書』の「旧約聖書」部分を収録。	パソコン書 『聖書－原文校訂による口語訳－』より
旧約聖書 創世記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	3	15,200	187	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「創世記」を収録。創世記はモーセ5書（出エジプト記、レビ記、民数記、申命記）の序論であり、一貫して歴史を物語っている。イスラエル人が後に守るべき重要な安息日、礼拝と献げ物、10分の1の献げ物などの中で、もっとも重要なのは、神の命令に従うか否かを示している。	同上
旧約聖書 出エジプト記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	11,000	142	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「出エジプト記」を収録。文学的特徴として、出エジプト記は歴史物語と律法からなっている。物語は究極的には歴史に根ざしているが、より神学的である。つまり、エジプトでバラバラだった一族が、シナイで主と契約を結び、自由な「祭司の王国、聖なる国」を形成するという宗教的叙事詩である。モーセの役割は常に脇役であり、主役は「主」である神となっている。	パソコン書 『聖書－原文校訂による口語訳－』より
旧約聖書 レビ記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	9,500	111	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「レビ記」を収録。レビ記は数世紀にわたって次第に増大し、現在では四つの部分に大きく分けられる。献げ物の規定、祭司叙任式、律法上の清淨、神聖法典、そして補遺として奉献物の買い戻しである。又、神聖法典は「主であるわたしは聖であるから、お前たちも聖でなければならない」という思想を根底にしている。	同上
旧約聖書 民数記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	11,400	147	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「民数記」を収録。民数記全体に流れている一つの主題は、イスラエルはまさに神の民になろうとした人々であって、神と親密ではあるが依然として罪人である、それにもかかわらず、神の慈悲を常に受ける人々であるということ。その意味で、民数記は救済史の中で、特別な意味を持つ。	同上
旧約聖書 申命記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	10,800	139	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「申命記」を収録。申命記はモーセ5書の最後の書として、神である主とその主に選ばれた民との契約の仲介者であり、立法者、民の指導者、また、執りなす者であるモーセの生涯とその職責を描く物語を完結する。モーセ5書と後続のヨシュア記、士師記、サムエル記上下、列王記上下を結ぶ要の書でもある。	同上

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
旧約聖書 ヨシュア記 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	8,600	106	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「ヨシュア記」を収録。第2のモーセと呼ばれたヨシュアが、ガリラヤ全土を支配した生涯の物語。その内容は①イスラエルの民が約束の地カナンを征服した経過、②割りあてを受けていないイスラエルの各部族への占領地の分与、③ルベン、ガド両族とマナセ族の半分を帰還させた後、ヨシュアが残した遺言、およびその死について、である。	パソコン書 『聖書 ー原文校訂による口語訳ー』より
旧約聖書 士師記・ルツ記 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	8,800	111	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「士師記」「ルツ記」を収録。士師(中国古代の裁判官)は中国語訳聖書に由来する。イスラエル民族が遊牧生活から定住生活へと変わる過程で、長老の權威が低下し、新權威として士師の役割が増大し、最終的には王政が誕生する。ルツ記はヘブライ語短編物語の珠玉である。全編に展開される祝福や、嘆願、嘆きの言葉の背後に神が暗示され、神が積極的に働かれることが示されている。ここでは、救いを推進していく神の介入の道具としてのルツが描かれている。	同上
旧約聖書 サムエル記 上・下 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	3	15,900	208	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「サムエル記上」「サムエル記下」を収録。サムエル記は、サムエルが生まれた前1100年頃から前965年頃のダビデの死の少し前までの間に起こった、さまざまな出来事が記されている。私たちは、サムエル記を通して、ダビデの子孫である真の神の子である主イエス・キリストに目をむけることになる。	同上
旧約聖書 列王記 上・下 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	3	15,400	203	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「列王記上」「列王記下」を収録。列王記は、神の民とその王たちの歴史を神学的に熟考し反省したものである。著者の究極のねらいは、イスラエルの神である主に対して王と民が忠実であるか不忠実であるかが、彼らの歴史のなりゆきを決定するという事実を描き、説き聞かせることであつた。	同上
旧約聖書 歴代誌 上・下 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	3	15,700	197	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「歴代誌上」「歴代誌下」を収録。歴代誌の著述の目的は、単にサムエル記で「書き漏らした事柄」を補足することではなかった。「最初の正典の神学者」と呼ばれた著者は、主を求めることがいかに祝福と繁栄をもたらすか、また、それを行わないことがいかに罰と破滅をもたらすかを、例を挙げて説明する。	パソコン書 『聖書 ー原文校訂による口語訳ー』より
旧約聖書 エズラ記・ネヘミヤ記 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	7,800	93	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「エズラ記」「ネヘミヤ記」を収録。現在のエズラ記、ネヘミヤ記という形は、15世紀のあるヘブライ語写本に初めて見られる。この写本を用いて、1517年にヘブライ語聖書が印刷、出版されたことから、現在の形が世界中に普及することになった。両方とも種々の歴史史料を編纂したものである。	同上

書名	著訳編者	巻数	定価	原本価格	原本発行所	原本発行年	主な内容	備考
旧約聖書 トビト記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,400	54	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「トビト記」を収録。トビト記は、トビトという敬虔なイスラエル人とその子トビアおよび嫁サラに関する物語で、3部からなる。第1部はトビトとトビアに起こった大きな変化について述べ、第2部はトビトとサラの祈りが聞き入れられ、天使ラファエルが神から遣わされたことについて記し、第3部結論として神の賛美が歌われる。	同上
旧約聖書 ユデイト記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,900	61	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「ユデイト記」を収録。ユデイト記は歴史と道徳に関する神学書の美しい1ページをなすものである。イスラエルの民とともにおられる神とイスラエル人の宗教行為がよく描かれている。その民が危険にさらされているとき、神は救いの手を差し伸べ、か弱いやもめのユデイトを選ばれる。そして彼女は終始万事を神に委ねるのである。	同上
旧約聖書 エステル記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	3,900	44	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「エステル記」を収録。エステル記は一見、歴史的事実を書いているようだが、事実と合わない記述も見られる。しかし、全体を作り話とするのは本書にある歴史的な事柄に反する。豊かな想像力を駆使して書かれており、著者は歴史家というよりも劇作家というべきであり、その意味で大衆文学の宝とも評される。	パソコン書 『聖書－原文校訂による口語訳－』より
旧約聖書 マカバイ記 1・2 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	3	15,700	201	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「マカバイ記1」「マカバイ記2」を収録。マカバイ記の内容、構成、文体などの研究から、第1巻の著者は教養のあるユダヤ人と見られている。第2巻の著者は、神殿並びに律法に対する尊敬と愛、律法の遵守者には好意的なので、ファリサイ派の人物と推定される。現代では「歴史家は第1巻を、信心家は第2巻を好む」という見方がある。	同上
旧約聖書 ヨブ記 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	12,000	159	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「ヨブ記」を収録。ヨブの苦難の発端を語る「序文」と後日談を語る「結び」を散文による枠として、韻文による「ヨブと友人との対話」、「エリフの弁論」、「主の声とヨブの答え」によって構成されている。ぎりぎりの状態の中での、ヨブと神の苦しみの意味をめぐる語りかけは迫力がある。	同上
旧約聖書 詩編 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	5	26,600	354	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「詩編」を収録。詩編ほど神に多く語りかけ、あるいは神について多く語るものはない。詩編は人間が神に語りかけたものである。時代、場所、文化は異なっても人間の心はみな本質的には同じである。詩編は150編あり、それらは第1巻から5巻まで区分されている。たいい表題がついている。	同上

書名	著訳編者	巻数	定価	原価 価格	原本発行所	原本 発行年	主な内容	備考
旧約聖書 箴言 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	2	10,800	139	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「箴言」を収録。箴言は「格言」とも訳され、序を入れ九つに分かれている。第1集「知恵の訓戒」、第2集「ソロモンの第1の箴言」、第3集「賢者の第1の箴言集」、第4集「賢者の第2の箴言集」、第5集「ソロモンの第2の箴言集」、第6集「アグルの言葉」、第7集「数による箴言」、第8集「レムエルの言葉」。	パソコン書 『聖書－原文校訂による口語訳－』より
旧約聖書 コヘレト －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	3,800	42	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「コヘレト」を収録。コヘレトは知恵文学中、箴言的性格以上の深遠な、哲学的、教訓的性格を有しており、聖書中はもちろん、諸文学中の傑作の一つ。コヘレトは人名だが、集会とか教会を意味する「カハル」という名詞からの派生語で、「集会の指導者」を意味する解釈もある。しかし説教ではない。	同上
旧約聖書 雅歌 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	3,100	34	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「雅歌」を収録。雅歌は、若々しく、新鮮な雰囲気包まれており、若い男女が互いに求め合い、探し合い、ついに一つに結ばれるまでを描いている。男女のやりとりは霊的愛の表現ではなく、あくまでも人間の自然な愛の語らいである。この愛は、結婚によって聖なるものとなり、聖書はそれをたたえる。	同上
旧約聖書 知恵の書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	5,700	72	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「知恵の書」を収録。知恵の書は典型的な教訓書の部類に属し、道徳生活に関する考察や金言からなっている。「知恵」という語は、一貫して詩的に擬人化され、次の二つの意味に用いられる。①「知恵」は、人が神から授けられる特殊な力で、これなしでは最高の真理を理解することも、神を求めることもできない。②「知恵」は、神の属性の一つで、神はこれによってすべてのものを完全に知り、計画、創造、主宰する。	同上
旧約聖書 シラ書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	3	15,900	197	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「シラ書」を収録。シラ書は第2正典に属し、第2正典には、ギリシア化政策によって生まれた文化的・宗教的危機に対する関わりについて二つの方向があった。一つは伝統的な教えを守り、そのまま伝える保守的な立場でこの危機を受けとめるもので、その代表が本書である。他は進歩的な姿勢で対処するもので、その代表が知恵の書である。	パソコン書 『聖書－原文校訂による口語訳－』より
旧約聖書 イザヤ書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	4	21,600	280	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「イザヤ書」を収録。本預言書の作者とされるイザヤは、前765年頃生まれたといわれる。父親はアモツとする言及が、列王記、歴代誌、本書にあわせて12回ある。イザヤの家系はユダ王国の貴族で、その活動は王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤという4人の治世下で行われた。	同上

書名	著訳編者	巻数	定価	原価 価格	原本発行所	原本 発行年	主な内容	備考
旧約聖書 エレミヤ書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	3	16,600	231	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「エレミヤ書」を収録。エレミヤが生き、預言した時代は、神の民の歴史の中で最も悲劇的、決定的な時代の一つだった。だが、本書全体に一貫しており、またそれを統一する主題は、イスラエルの神であり宇宙の神である主と預言者との深い一致である。彼の嵐の生涯が展開する。	同上
旧約聖書 哀歌・バルク書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,700	64	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「哀歌」「バルク書」を収録。哀歌のヘブライ語の表題は「エイカ」(まあ、何と、どうしての意)である。この語は通常、感嘆、疑問を表現する時に用いられるが、追悼の意もある。昔の栄光、栄華を思い起こしつつ、今の荒廃した姿を嘆くのが本音である。バルクとは前604年にエレミヤの秘書として登場する貴族出身の人物である。本書の正典性はカトリックでは認められて来たが、プロテスタントの学者たちは認めていない。	同上
旧約聖書 エゼキエル書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	3	13,400	160	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「エゼキエル書」を収録。エゼキエルは「祭司の子」であった。祭司職が世襲なので、彼も祭司だったと思われる。エゼキエルを挟んで、補囚前および捕囚前期にはエレミヤが、補囚からの開放前には第2イザヤという大預言者も登場する。エゼキエルはその一人として、補囚の背景とその救済的意味を告知しながら、同胞の心に希望の火をともし続けた。	パソコン書 『聖書 ー原文校訂による口語訳ー』より
旧約聖書 ダニエル書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	5,700	75	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「ダニエル書」を収録。ユダヤ教の正典では聖書の第3部を知恵文学とみなし、ダニエル書をエステル記とエズラ記・ネヘミヤ記の間に入れるが、70人訳は預言書とみなし、大預言書の最後のものとしてエゼキエル書の後に置いている。本書は一人の作品というより、グループの中で形成されたものと考えられる。	同上
旧約聖書 ホセア書・ヨエル書 －原文校訂による口語訳－	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,900	66	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「ホセア書」「ヨエル書」を収録。ホセアとは「主は救う」「主は救い」を意味する。彼は北王国イスラエルの生まれであること以外何も知られていない。ホセアは神と民の関係を夫と妻の関係で巧みに表した最初の預言者。ヨエル書の第1部では、蝗の大群がエルサレムに飛来し食料の枯渇をもたらしたのは「主の日」の到来の前触れなので、嘆きと悔い改めを訴える。第2部は人々の祈りと嘆願に対する主の答えである。	同上

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
旧約聖書 アモス書・オバデヤ書・ヨナ書 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	4,300	52	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「アモス書」「オバデヤ書」「ヨナ書」を収録。アモスが預言者として活動したのは、前760年頃の夏とされる。当時、北王国は繁栄の絶頂期だった。北王国の軍事的敗北とその結末、即ち補囚を告げた。アモスの言葉は羅針盤として編纂された。オバデヤ書は旧約聖書中一番短い書であり、前半はエドムに対する言葉、後半はイスラエルの勝利と領土回復についての預言である。ヨナ書は、預言者に託された神の言葉を収録するものではなく、一つの物語からなっている。	パソコン書 『聖書 ー原文校訂による口語訳ー』より
旧約聖書 ミカ書・ナホム書・ハバクク書・ゼファニヤ書 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	5,200	70	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「ミカ書」「ナホム書」「ハバクク書」「ゼファニヤ書」を収録。ミカの預言は、国の指導者や有産階級の人達が犯した罪の故に、主はサマリアとエルサレムそしてユダに災いをもたらされる、という。ナホムの名前は「慰め」「慈しみ」を意味する。世界を維持主宰する神の正義、倫理性を強く打ち出している。ハバククは、預言者であること以外はほとんど何も知られていない。ゼファニヤの名前は「主は隠した」「主は守った」を意味する。彼はエルサレムの地理に詳しい住民と思われる。	同上
旧約聖書 ハガイ書・ゼカリヤ書・マラキ書 ー原文校訂による口語訳ー	フランシスコ会聖書研究所訳注	1	5,200	66	サンパウロ	2013	旧約聖書から、「ハガイ書」「ゼカリヤ書」「マラキ書」を収録。ハガイの名は「祭日」「祭日に生まれた者」を意味する。その出生、背景、没年などは知られていない。ゼカリヤ書は、「約束」と「清め」を主題とする第1ゼカリヤと、「約束」と「審判」を主題とする第2ゼカリヤに大別される。旧約最後のマラキは固有名詞ではなく、架空の人物と見られている。最終編集者は、むしろ12預言書全体をまとめる意味での結論を付記したと考えられる。	同上

【 祈 り と 歌 】

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
十字架の道行	日本カトリック司牧司教委員会編	1	900	100	カトリック中央協議会	1994	四旬節によく行われる十字架の道行のやさしい口語体による祈り。「日々の祈り」の続編として発刊。	
ロザリオの祈り 増補改訂版 第二版	日本カトリック司牧司教委員会編 日本カトリック司教協議会常任司 教委員会増補改訂	1	850	108	カトリック中央協議会	2013	キリストの生涯を黙想し、聖母マリアの生き方 に心をあ わせる祈り。教皇ヨハネ・パウロ二世の提唱で「光の神 秘」を加えた増補改訂版に、聖母マリアの祈りを「アヴェ・ マリアの祈り」に変更した第2版。※聖マリアの連願追加 済(2020年10月)	パソコン書
カトリック聖歌集(歌詞)	聖歌集改訂委員会編	3	8,000	824	光明社	1989	本書はラテン語ミサ時代の聖歌を集大成した歌詞集。1 曲1ページを原則にして、典礼暦にそった一般聖歌やラテ ン語聖歌も含まれる。	パソコン書
カトリック聖歌集(楽譜・歌詞)	聖歌集改訂委員会編	8	22,000	824	光明社	1989	楽譜つきの歌詞集。	パソコン書
典礼聖歌(一般用・歌詞) 新装版	日本カトリック典礼委員会編	5	19,500	2,000	カトリック中央協議会 (中央出版社)	2019 (1985)	現在、もっとも多く歌われている聖歌の歌詞のみを集め た。新装版は、原本発行元があかし書房より変更になり 装丁を改めた以外には、細かな修正を施すのみで前版と 大きな違いはない。ゴシック文字による音の変化には点 字記号で対応。またバインダー製本にして、原則1曲1～ 2頁とし、必要な曲の用紙を取り外して利用できるよう になっている。なお、「歌ミサの式次第」、「ミサ曲」はこれ まで通り省略されている。なお、上記は『ともにささげるミサ 新訂版ーミサの式次第会衆用ー』に収載。	パソコン書 (カトリック典礼聖歌 集「補巻」含)
典礼聖歌(一般用・楽譜)	典礼聖歌編集部編	4	12,000	1,700	あかし書房	1996	盲学校で使われている文部省の定めた楽譜表記を採 用。ミサ曲及び教会の祈りも収録し、信徒だけでなく修道 院の日課にも対応できる。ただし、歌詞は1番のみ記載。	パソコン書
カトリック典礼聖歌集 (一般用・歌詞)	典礼音楽研究会編	1	2,900	1,400	中央出版社	1993	典礼聖歌集発行以後追加された曲を含む。日本人の体 質にあった曲づくりの苦心がうかがえる。	パソコン書
カトリック典礼聖歌集 (一般用・楽譜)	典礼音楽研究会編	4	11,000	1,400	中央出版社	1993	歌詞集に対する楽譜編。	パソコン書
カトリックの祈り(改訂版)	サンパウロ編	2	6,000	945	サンパウロ	2011	文語体による「公教会祈祷文」が現代に合わなくなっ てきたことから、口語体による新しい祈りの試み。しかし長く親 しまれた古い祈りも残されている。既刊の「ゆるしの秘跡」 「日々の祈り」「十字架の道行」「ロザリオの祈り」に加え、 「アヴェ・マリアの祈り」も収録。	パソコン書

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
別冊 毎日のミサ 楽譜 アレルヤ唱・詠唱(歌詞)	カトリック中央協議会 事務局編	2	5,400	509	カトリック中央協議会	1992	主日のアレルヤ唱と詠唱を中心に編集された「典礼聖歌」の週日の部分を補うように編集。そのため、一部典礼聖歌と音の位置が変わったり、歌詞を一部補ったりした。	パソコン書
4カ国語ミサ式次第 会衆用	オリエンズ宗教研究所編	1	2,600	840	オリエンズ宗教研究所	1997	盛んな国際交流を反映して、在日外国人の増加によりこの人々の母国語ミサへの要求が強くなった。英語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語による式次第。	パソコン書
ともにささげるミサ 新訂版 ーミサの式次第 会衆用ー	オリエンズ宗教研究所編	1	2,900	770	オリエンズ宗教研究所	2022	日本カトリック典礼委員会編『新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」の変更箇所ー2022年11月27日(待降節第一主日)からの実施に向けて』(カトリック中央協議会)に準拠した、会衆に直接関係する部分を分かりやすく示した新しいミサ式次第。	パソコン書
新しい「ミサの式次第と第一～第四奉 献文」の変更箇所 ー2022年11月27日(待降節第一主 日)からの実施に向けてー	日本カトリック典礼委員会編	2	7,200	286	カトリック中央協議会	2021	2022年の待降節第1主日から開始される「ローマ・ミサ典礼書」ラテン語規範版第3版に基づくミサの実施に向け、式文の変更箇所に対する学びと理解のために編まれた冊子。変更箇所などに脚注で解説をつけている。	パソコン書
★ 感謝の祭儀を祝う ー新しい「ミサの式次第」解説ー	日本カトリック典礼委員会編	2	9,600	530	カトリック中央協議会	2023	新しい「ミサの式次第」実施準備のため「カトリック新聞」に連載された日本カトリック典礼委員会委員による変更箇所についての解説に適宜修正や加筆を施し、より深い理解のためのテキストとして再構成。さらに、いくつかの学術的な質問が寄せられた「あわれみの賛歌」から「いつくしみの賛歌」への変更について、聖書学的観点と典礼学的観点から新たに書き下ろされた解説を補遺として収録。	パソコン書
日々の祈り 改訂版 第二版	日本カトリック司教協議会常任司 教委員会編	1	3,700	945	カトリック中央協議会	2022	2005年の改訂版以後、2011年5月の司教団決定に従い、聖母マリアの祈りを「アヴェ・マリアの祈り」に変更し、「十字架のしるしと祈り」を加えた改訂第2版。よく祈られる「主の祈り」「使徒信条」「ニケア・コンスタンチノーブル信条」「十字架の道行」「ロザリオの祈り」なども収録。 ※聖マリアの連願追加済(2020年10月)	パソコン書
典礼奉仕への招き ーミサ・集会祭儀での役割ー	オリエンズ宗教研究所編	3	10,000	1,470	オリエンズ宗教研究所	2005	典礼に関する奉仕、朗読や聖歌、共同祈願の奉仕をやさしく解説。障害をもつ信徒や外国籍の信徒への課題にも触れる。	パソコン書
教会の祈り ー新しい聖務日課ー	日本カトリック典礼委員会編	20	46,000	5,460	カトリック中央協議会	2005	本来、司祭・修道者が日常的に唱える祈りの書である。祈りの意味を規定した「総則」を始め、年間共通、季節固有、祝日共通など1年をめぐる祈り、そして巻末に「教会の祈りの旋律」(楽譜)も加えた。なお、付録として、繰り返し唱えられる祈り「しおり」がついている。	パソコン書

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原本 価格	原本発行所	原 本 発行年	主 な 内 容	備 考
教会の祈りの総則	日本カトリック典礼委員会訳・編	2	10,000	583	カトリック中央協議会	2023	現行の『教会の祈り—新しい聖務日課』に収められている総則に対し、大幅な修正は施さずとも、公会議公文書の引用を改訂公式訳に、聖書の引用を新共同訳に差し替え、規範版第2版に基づく修正を反映し、用字や表現等の一部改めたもの。冒頭には第二バチカン公会議後の新しい時課の典礼を認可するパウロ六世の使徒憲章「ラウデイス・カンティクム」を収録し、巻末には事項索引を付す。横組・脚注形式で、「教会の祈り」の構造や規則を学ぶテキストとして最適。	パソコン書
新版製作中(2026年夏頃完成予定) 葬儀のしおり	泉 富士男編	1	3,600	630	ドン・ボスコ社	2006	カトリックの葬儀に参列した場合、その内容も教会、自宅、集会所などでの通夜、葬儀、告別式、火葬と変化に富む。本書はそこで用いられる聖書と祈り、聖歌などを掲載し、まごつかないで対応できる配慮をしている。	パソコン書

【回勅、書簡、教書】

書名	著訳編者	巻数	定価	原価 価格	原本発行所	原本 発行年	主な内容	備考
祖先と死者についてのカトリック信者の手引	日本カトリック諸宗教委員会編著	1	1,100	155	カトリック中央協議会	1993	仏教が主流の日本で、キリスト教はその慣習にどう対応したらよいか。具体的な問答を通して説明した手引書。	
信徒の召命と使命 (教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的勸告)	ヨハネ・パウロ二世 小田武彦、門脇輝夫 共訳	2	8,800	1,200	カトリック中央協議会	1992	1987年、世界代表司教会議後、信徒のこの世での働き、位置を明らかにして、カトリック者の立場を明確に示す教皇の勸告。	
対話と宣言 ― 諸宗教間の対話とイエス・キリストの福音の宣言をめぐる若干の考察と指針―	教皇庁諸宗教評議会・福音宣教省著 ペトロ・ネメシェギ訳	1	2,800	750	カトリック中央協議会	1993	諸宗教間の対話を進めることは、真理を求め、自由を尊重することによって、建設的な関係を築く。それは福音の伝達でもあると教会は宣言する。	
サルヴィフィチ・ドローリス ― 苦しみのキリスト教的意味― (ヨハネ・パウロ二世の教皇書簡)	ヨハネ・パウロ二世 内山恵介訳	1	3,500	700	サンパウロ (旧・中央出版社)	1992	人はその生活において試練にあったとき、この苦しみにどんな意味があるのかと自問する。この間に正面から答えたのが本書。	
紀元2000年の到来 (教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的書簡)	ヨハネ・パウロ二世 カトリック新聞編集部訳	1	3,500	700	カトリック中央協議会	1995	第3の千年期、2000年を前にして教皇は世界の現状を分析し、旅する教会の使命を具体的に提示する。	
第二バチカン公会議 教会憲章	日本司教団秘書局訳	2	4,800	550	サンパウロ	1976	第二バチカン公会議は、教会の現代社会への適応が最大テーマだった。その成果を集大成して旅する教会の姿を公にした基本文書。	パソコン書
障害の重荷をともに担える日をめざして	日本カトリック司教協議会・社会司教委員会著	1	500	100	カトリック中央協議会	1996	国際障害者年を視野におきつつ、障害者の生き方、社会のなすべき義務などについて、カトリック教会の考え方をあらわした画期的文書。	パソコン書
神の国をめざして ― 私たちにとっての第二バチカン公会議―	松本三朗著	3	8,000	1,260	オリエンス宗教研究所	1990	現代世界へ教会はいかに適応するか、をテーマに開かれたバチカン公会議は重要な文書を多数出した。その意義と背景をわかりやすく解説。	パソコン書
第二バチカン公会議 現代世界憲章	南山大学監修	2	5,300	360	サンパウロ	1996	第二バチカン公会議以後、現代社会の家庭、文化、政治、経済などの諸問題に対する教会の基本見解。	パソコン書 第二バチカン公会議公文書全集より
第二バチカン公会議 典礼憲章・広報機関に関する教令	①日本司教団秘書局訳 ②南山大学監修	1	3,000	450	サンパウロ (旧・中央出版社)	①1988 ②1996	典礼憲章は各民族・文化の特質にマッチした革新的典礼のあり方を示し、広報教令は現代マスコミのあり方と正しい活用を促している。	パソコン書 原本は2冊①典礼憲章②公文書全集より抜粋

書名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
第二バチカン公会議 神の啓示に関する教義憲章・信徒使徒職に関する教令	南山大学監修	1	3,300	209	サンパウロ	1996	長年プロテスタントと論争されてきた聖書と伝承の問題について、新しい光をあてた文書。また、神の民である信徒の役割への指針。	パソコン書 第二バチカン公会議公文書全集より
第二バチカン公会議 東方カトリック諸教会に関する教令・教会における司教の司牧任務に関する教令	南山大学監修	1	3,000	170	サンパウロ	1996	第二バチカン公会議が東方教会との関わり、教会における司教の使命と任務について示した指針。	同上
第二バチカン公会議 修道生活の刷新・適応に関する教令、司祭の養成に関する教令、キリスト教的教育に関する宣言	南山大学監修	1	3,300	200	サンパウロ	1996	修道生活の刷新と各修道会の精神を生かしつつどう現代生活に適應させるかがポイント。ほか2篇。	同上
第二バチカン公会議 キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度についての宣言、教会の宣教活動に関する教令	南山大学監修	1	3,650	200	サンパウロ	1996	イスラム教、ユダヤ教などの諸宗教との理解をよびかけた宣言。ほか1篇。	同上
第二バチカン公会議 信教の自由に関する宣言、司祭の役割と生活に関する教令	南山大学監修	1	3,650	220	サンパウロ	1996	キリスト教と信教の自由との関わりをカトリックの立場から展開する。ほか1篇。	同上
義認の教理に関する共同宣言	ローマ・カトリック教会、ルーテル世界連盟編 ルーテル/ローマ・カトリック共同委員会訳	1	3,500	1,050	教文館	2004	神が人をよしとする恵み、即ち「義認」をめぐる、カトリックとプロテスタントは500年対立してきた。対立を克服して共通理解に達した和解の書。	パソコン書
諸宗教対話 －公文書資料と解説－	日本カトリック司教協議会諸宗教部門編	4	14,600	945	カトリック中央協議会	2006	第二バチカン公会議は、キリスト教以外の諸宗教に対して、「すべての人々の間に、また、諸国民の間に、一致と愛を育てることを自らの職務」として、教会が諸宗教と対話することを進めた。本書は40年後の現在、その間に生まれた資料と解説を示している。	パソコン書
カトリック教会の諸宗教対話の手引き －実践Q & A－	日本カトリック司教協議会諸宗教部門編	1	4,600	903	カトリック中央協議会	2009	宗教の違いがもたらす生活上の悩みは誰にでもある。キリスト者は祭りの御輿を担ぐか、信者でない配偶者の葬式は、命日やお盆について、家庭内の仏像や仏壇はどう扱うかなどについて、本書は柔軟かつ明快に答える。	パソコン書
ヒッポのアウグスチヌス (教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的書簡)	ヨハネ・パウロ二世 山口正美訳	1	4,500	945	カトリック中央協議会	2005	教父聖アウグスチヌスの回心1600年にあたって発表された使徒的書簡。アウグスチヌスの劇的な回心の軌跡や、理性と信仰についての考察など偉大な教父の比類のない思想のパノラマを概観し、信仰の「理解」を求めた生涯を濃密に描き出している。	パソコン書

信仰の門 ―自発教令「信仰年」開催の告示―	教皇ベネディクト十六世 カトリック中央協議会司教協議会 秘書室研究企画訳	1	400	126	カトリック中央協議会	2012	2011年(教皇在位第7年)10月11日に、ローマのサンピエトロ大聖堂において、教皇ベネディクト十六世が発出した「信仰年」開催の告示に関する自発教令を収録。全世界の信徒に、第2バチカン公会議開催後50年を捉え、あの会議の持つ意味を再確認し、合わせて日常の信仰を深めるよう求めている。	パソコン書
回勅 パーチェム イン テリス ― 地上の平和 ―	教皇ヨハネ二十三世 マイケル・シーゲル訳 日本カトリック司教協議会社会司 教委員会監修	1	4,600	588	カトリック中央協議会	2013	1962年10月のキューバを巡る米ソの対立が核戦争寸前のとき、ヨハネ二十三世は「平和のために尽くす国家指導者を評価する」、「指導者は平和を叫ぶ人類の声を聞け」とメッセージを送り、解決へ導いた。その後、彼が死の直前に書いた世界平和へのメッセージが本書である。	パソコン書
イエス・キリスト、父のいつくしみのみ 顔―いつくしみの特別聖年公布の大勅書	教皇フランシスコ著 カトリック中央協議会事務局訳	1	2,000	135	カトリック中央協議会	2015	2015年12月8日(無原罪の聖マリアの祭日)に始まり、2016年11月20日(王であるキリストの祭日)に終わる、いつくしみの特別聖年に向け公布された大勅書。特別聖年の意義を説き、いつくしみの神秘を観想するよう促すとともに、いつくしみ深い御父に倣って、わたしたち一人ひとりが、他者にいつくしみをもたらすよう力強く訴える。	パソコン書

【 聖人伝、説教集、黙想 】

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原本 価格	原本発行所	原 本 発行年	主 な 内 容	備 考
聖人略伝－典礼暦による－ 改訂増補	ピエール・ジュネル著 札幌女子カルメル会訳	4	16,800	1,600	ドン・ボスコ社	1989	第二バチカン公会議以後の教会の現代化の努力をふまえ、教会を代表する諸聖人の足跡を時代感覚にそうタッチで暦にそって伝記化した。	
ヨブ記の黙想－試練と恵み－	カルロ・マリア・マルティーニ著 今道瑤子訳	3	9,000	1,200	女子パウロ会	1992	人生において苦しみどんな意味があるのか。そのカギを解くよすがとなる旧約「ヨブ記」をテキストにした枢機卿の黙想会テキスト。	
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第一巻 待降節・降誕節	典礼委員会編	3	7,000	1,200	カトリック中央協議会	1992	教会の教父や著作家の説教と解説を、待降節と降誕節のこよみに従って掲載。教会の遺産と伝統の宝庫がここにある。	パソコン書
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第二巻 四旬節	典礼委員会編	3	7,000	1,200	カトリック中央協議会	1992	教会の教父や著作家の説教と解説を、四旬節のこよみに従って掲載。	パソコン書
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第三巻 復活節	日本カトリック典礼委員会編	3	7,000	1,200	カトリック中央協議会	1994	教会の教父や著作家の説教と解説を、復活節のこよみに従って掲載。	パソコン書
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第四巻 年間1(第1週～第9週)	日本カトリック典礼委員会編	3	7,000	1,200	カトリック中央協議会	1994	教会の教父や著作家の説教と解説を、年間のこよみに従って掲載。	パソコン書
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第五巻 年間2(第10週～第13週)	典礼委員会編	3	7,000	1,200	カトリック中央協議会	1991	〃	パソコン書
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第六巻 年間3(第14週～第20週)	日本カトリック典礼委員会編	3	7,000	1,200	カトリック中央協議会	1994	〃	パソコン書
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第七巻 年間4(第21週～第27週)	典礼委員会編	3	7,000	1,200	カトリック中央協議会	1991	〃	パソコン書
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第八巻 年間5(第28週～第34週)	日本カトリック典礼委員会編	3	7,000	1,200	カトリック中央協議会	1994	教会の教父や著作家の説教と解説を、年間のこよみに従って掲載。	パソコン書
毎日の読書－「教会の祈り」 読書第二朗読－ 第九巻 祝日共通	典礼委員会編	2	5,000	1,200	カトリック中央協議会	1991	教会の教父や著作家の説教と解説を、祝日共通の項目に従って掲載。	パソコン書

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
イエスの生涯	モーリヤック著 杉 捷夫訳	5	14,400	2,880	新潮社	1962	神・人イエスがこの世の富や権力の横暴に立ち向かい、弱い人、貧しい人に希望を与えた。その足跡を聖書の流れに添いながら、心にしみるタッチで描いた名作。	パソコン書
聖書100週間 I 旧約聖書 ― 歴史書	マルセル・ルドールズ編	3	10,300	1,300	ドン・ボスコ社	2007	ルドールズ神父が始めた「聖書を深く味わい、理解を深めるグループ学習」のためのテキスト。通常旧約に2年、新約1年と3年を要する全聖書の通読と分かち合いが各地で開催されている。	パソコン書
聖書100週間 II 旧約聖書 ― 預言書・教訓書	マルセル・ルドールズ編	4	16,300	1,600	ドン・ボスコ社	2005	〃	パソコン書
聖書100週間 III 新約聖書	マルセル・ルドールズ編	3	11,300	1,300	ドン・ボスコ社	2005	〃	パソコン書
使徒 ― 教会の起源	教皇ベネディクト十六世著 カトリック中央協議会司教協議会 秘書室研究企画 編訳	3	13,700	918	カトリック中央協議会	2008	「使徒の経験から見た、キリストと教会の関係の神秘」をテーマとしたベネディクト十六世の連続講話集。「使徒たちの経験」を生き生きと描出し、キリストとの個人的な関係を生きることの重要性を平易に説く。	パソコン書
教 父	教皇ベネディクト十六世著 カトリック中央協議会司教協議会 秘書室研究企画 編訳	6	23,200	1,296	カトリック中央協議会	2009	「教会の師父」である「教父」に関するベネディクト十六世の連続講話集。ギリシア教父、ラテン教父各17名に加え、あまり知られていないシリア教父2名をも取り上げ、その生涯と思想を通し、歴史の中で教会の歩みがどのように始まり、その基盤が築かれたかを浮き彫りにする。	パソコン書
中世の神学者	教皇ベネディクト十六世著 カトリック中央協議会司教協議会 秘書室研究企画 編訳	5	20,500	1,080	カトリック中央協議会	2011	『使徒－教会の起源』『教父』の続編となるベネディクト十六世の連続講話集。東方教会7名、西方教会24名の神学者を取り上げ、その生涯と著作のうちにキリスト者とはいかなることかを見いだすことによって、教会を知り、その理解へと招く。	パソコン書
女性の神秘家・教会博士	教皇ベネディクト十六世著 カトリック中央協議会司教協議会 秘書室研究企画 編訳	4	14,600	918	カトリック中央協議会	2011	西洋中世を生きた「生活の聖性と豊かな教えにおいて際立った」15名の女性を考察する『女性の神秘家』と、近世から現代に至るまでの8名の教会博士を取り上げる『教会博士』の2編を収録。『使徒－教会の起源』『教父』『中世の神学者』の続編となる列伝体の教会史完結編。	パソコン書

【 評 論 、 エ ッ セ ー 】

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原本 価格	原本発行所	原 本 発行年	主 な 内 容	備 考
キリスト教文化の常識	石黒マリーローズ著	2	8,300	650	講談社	1994	毎日の挨拶や人名・地名、祝祭日、ライフスタイルなどに密接に関連したキリスト教の言葉と精神―その由来と意味を簡明に説き明かす。	現代新書1222
羊のたわごと ―会衆席からのメッセージ―	堀越喜晴著	4	13,800	1,575	サンパウロ	2007	聖書の言葉の内側に入りこみ、「人々の間に生き生きと通い合う言葉」をもって現代社会の障害者・教育・宗教などの諸問題、そして何よりもキリスト教の教会・聖職者・信徒の問題を語る。『聖公会新聞』連載を単行本化。	パソコン書

【 そ の 他 】

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原本 価格	原本発行所	原 本 発行年	主 な 内 容	備 考
NDC入門	もりきよし編	3	7,500	1,350	日本図書館協会	1991	図書分類で欠かせないNDC(日本十進分類法)の成り立ち、応用、解説をした図書館人必読の書。あわせて分類標準、図書記号、分類目録編成法にも言及。	図書館員選書2
近代日本の盲教育60年間わず語り	長尾栄一著	2	5,500	1,100	(筆者書き下ろし)	2000	視覚障害者の職業にとって切り離せない理療の教育現場の第一線で働いてきた著者の回想録。	パソコン書
障害学への招待 ―社会、文化、ディスアビリティ―	石川准、長瀬修編著	6	18,000	2,940	明石書店	1999	障害と障害者を社会・文化の視点から考え直し、従来の医療・福祉・特殊教育の枠から解放する新しい学問への試み。	パソコン書
「ノーマライゼーションの父」 N・E・バンク・ミケルセン ―その生涯と思想―	花村春樹訳・著	3	9,990	2,100	ミネルヴァ書房	1999	今日、世界の社会福祉政策の基本的な思想である「ノーマライゼーション」を提唱したミケルセンの生涯とその考え方を再確認する。	パソコン書
点字技能検定試験の対策 ―過去問題(第22回)の正答と解説―	日本点字技能師協会編	1	5,600	1,000	日本点字技能師協会	2023	2022年度に行われた第22回点字技能検定試験の学科試験・実技試験(点字化・校正問題)の正答と解説のほか、受験者のために、「点字技能チャレンジ講習会の紹介」「合格者の声」「点字技能検定試験の受験者数と合格者数の推移」などを掲載。点字化・校正問題の原文は一般CDに録音し、付録として添付。	パソコン書

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
点字技能検定試験の対策 ―過去問題(第23回)の正答と解説―	日本点字技能師協会編	1	5,600	1,000	日本点字技能師協会	2024	2023年度に行われた第23回点字技能検定試験の学科試験・実技試験(点字化・校正問題)の正答と解説のほか、受験者のために、「点字技能チャレンジ講習会の紹介」「合格者の声」「点字技能検定試験の受験者数と合格者数の推移」などを掲載。点字化・校正問題の原文は一般CDに録音し、付録として添付。	パソコン書
点字技能検定試験の対策 ―過去問題(第24回)の正答と解説―	日本点字技能師協会編	1	5,600	1,000	日本点字技能師協会	2025	2024年度に行われた第24回点字技能検定試験の学科試験・実技試験(点字化・校正問題)の正答と解説のほか、受験者のために、「点字技能チャレンジ講習会の紹介」「合格者の声」などを掲載。点字化・校正問題の原文は一般CDに録音し、付録として添付。	パソコン書
★点字技能検定試験の対策 ―過去問題(第25回)の正答と解説―	日本点字技能師協会編	1	5,600	1,200	日本点字技能師協会	2026	2025年度に行われた第25回点字技能検定試験の学科試験・実技試験(点字化・校正問題)の正答と解説のほか、受験者のために、「点字技能チャレンジ講習会の紹介」「合格者の声」などを掲載。点字化・校正問題の原文は一般CDに録音し、付録として添付。	パソコン書
視覚障害者選挙情報支援の研究報告書 ―知らされる権利の実現をめざして―	日本盲人社会福祉施設協議会 点字出版部会編著	1	2,200	440	日本盲人社会福祉施設協議会	2004	国政選挙における点字選挙公報発行実現のため、各種アンケート調査結果と実際の製作手順を示した。情報格差解消のための手引書。	パソコン書
盲人福祉の新しい時代 ―松井新二郎の戦後50年―	松井新二郎伝刊行会編	3	7,500	1,890	富山房インターナショナル	2005	あはき以外の盲人の職業開拓に全力疾走した福祉先覚者の記録。戦後50年の盲人福祉資料としても有益である。	パソコン書
共用品白書	共用品推進機構編	11	20,000	2,800	ぎょうせい	2003	バリアフリー・ユニバーサルデザインの精神により、住宅、家電製品、玩具、サービスまで400点収録。関係法令など資料も収められている。ただし、資料はできるだけ最近のものを提供したい、との編者のご配慮により、原本に対し一部加筆・訂正を行なって点字出版している。	パソコン書
私たちの考える歩行指導Q&A ―視覚障害教育の現場で―	東京都盲学校自立活動教育研究会編	3	9,500	1,500	東京都盲学校自立活動教育研究会	2006	今日、障害者の自立が叫ばれているが、なかなか視覚障害者が単独歩行するのは難しい。本書は、盲生徒の自立活動を担当する盲学校の教師たちが、生徒指導で得られたエキスをまとめた。全体は、「歩行指導について」「白杖とその操作について」「実践事例」などで構成されている。生徒の向こうにいる中途失明者をも視野に入れて執筆されている。	パソコン書

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
より多くの人が使いやすいアクセシブルデザイン入門	星川安之、佐川賢共著	2	3,600	945	日本規格協会	2007	一般の製品やシステムを、高齢者や障害のある人々が使いやすいように配慮した設計のことをアクセシブルデザインという。それは企業にとっても新しいビジネスへの参加を促し、共生社会への発展につながる。本書は、その仕組みをやさしく読み解く。	パソコン書
ディスアビリティ・スタディーズ ーイギリス障害学概論ー	コリン・バーンズ、ジェフ・マーサー、トム・シェイクスピア著 杉野昭博、松波めぐみ、山下幸子訳	7	27,800	3,990	明石書店	2004	社会学の立場に立ってイギリスの障害者に関わる病氣、理論、地域環境、社会政策、政治、文化、余暇、メディアなどを詳細に分析し、障害者問題への展望を探った今日的労作。	パソコン書
心の悩みを受けとめるために	イエズス会社会使徒職委員会 「現代日本の心の悩み」に関する タスク・チーム編	1	3,300	100	イエズス会社会司牧センター	2007	現代の心の悩みとは何か。高齢者、自殺、教育、引きこもり、イジメなど多岐にわたる。これらは個人の問題であり、社会問題でもある。本書は、教会の福音的視点でこれらの課題に取り組んだ人たちの現場からのメッセージである。	パソコン書
バリアオーバーコミュニケーション ー心に風を通わせようー	堀越喜晴著	4	14,980	1,575	サンパウロ	2009	NHKラジオ「視覚障害者のみなさんへ」で1991年から1999年までの8年間に、番組の中で語ったものに加筆訂正を加え出版されたもの。バリアフリーならぬバリアオーバー（バリア超え）を提唱する一視覚障害者である著者が、混迷の時代の病めるコミュニケーションに一石を投じる。	パソコン書
バリアフリームーブメント ー過去から学べ、新たな壁に向かって 「障壁を取り除いた取り組みの軌跡を追う」ー	共用品推進機構編	3	7,200	1,440	[共用品推進機構]	2011	本書発行の意味は副題でも明らかにされているとおりである。日常生活用品の製作にあたって、関係業者に健常者・高齢者・障害者の誰もが使える共用品を提案するよう訴えてきた共用品推進機構が、週刊誌2誌に月1回連載してきた「さりげないインテリジェンス、知識の泉」と「バリアフリームーブメント」を、今回点字・録音用にまとめ編集したもの。今日の到達点と未来への可能性を提案している。	パソコン書
東京盲学校六十年史	東京盲学校編	9	25,000	5,000	東京盲学校	1935	明治の始め、外国人と我が国盲教育関係者により作られた楽善会は今日の筑波大附属視覚特別支援学校の創設に大いに貢献した。昭和10年、同校の60年の盲教育の歩みをまとめて公表したのが本書である。歴史的資料として大きな価値がある。	パソコン書
心新たに生きる	モラロジー研究所編	1	850	270	モラロジー研究所	2011	生きがいと喜びに満ちた人生を切り拓いていくために、必要なものは何か。「利己心を克服し慈悲の心を育てる」「感謝の心で生きる」などをテーマに、よりよい人生を築くための道徳実行の指針を示している。	パソコン書
文明の災禍	内山 節著	2	7,000	714	新潮社	2011	東日本大震災と福島原発事故は、現代日本の暮らしの見直しを根本的なところで迫っている。哲学者である著者は、自然の災禍と文明の災禍を分析し、どうしたら隣人と共に生きつつ、この災禍を乗り越えられるかを提言する。	パソコン書

書 名	著 訳 編 者	巻数	定 価	原 本 価 格	原 本 発 行 所	原 本 発 行 年	主 な 内 容	備 考
図説 よくわかる障害者総合支援法	坂本 洋一著	5	8,900	1,890	中央法規出版	2013	かつて厚労省の福祉専門官だった著者は、「平成24年4月からの障害者自立支援法について、多くの関係者の理解不足の感があるので、同法を踏まえ、平成25年4月以降の障害者総合支援法への移行を念頭に置いて、障害者福祉制度の理解を深めたい」として、本書を執筆した。ポイントとして、支給決定・障害程度区分認定、相談支援、自立支援給付、地域生活支援事業、障害児へのサービスなどの63項目にわたって解説している。	パソコン書

【 定 期 刊 行 物 】

聖書と典礼 (主日のミサ用)	オリエンス宗教研究所編		年間 12,000円	主日のミサに用いる典礼用パンフレット(1ヵ月分まとめて発送)(点字版・デジ版)
ロゴスのほん箱 (偶数月20日発行)	ロゴス点字図書館編		無料	本館の利用者を対象とした、最新の蔵書目録を中心に、図書館周辺の問題をお届けするニュース・レター (点字版・点字データ<BES>版・デジ版・墨字版)
通信 あけのほし (年4回発行)	ロゴス点字図書館編		無料	本館のボランティア、維持会員を対象としたニュース・レター (点字版・デジ版・墨字版)